

## 1年で1800人の定員増！ 新設ラッシュ看護学科

平成26年、18大学で新たに看護学科が新設されたのをご存じだろうか。

「看護学」を学べる大学は、昭和46年にはわずか6校、平成元年でも11校に過ぎないマイナーな学

科だったが、平成3年から年々増え続け、今や228大学にまで膨れ上がった。これは、日本の大学3.3校に1校の割合で看護学科がある計算だ。さらに来年平成27年も、すでに14大学が設置届出または設置認可申請を済ませており、ホームページなどで積極的に学生の募集

を始めている。

この新設ラッシュに加えて、既存の看護学科でも軒並み定員を増やしており、今年度の看護学科の入学定員は昨年度17,879人から19,684人へ、わずか1年間で一気に約1,800人も増加する異例の年となった。

この動きの背景には、各都道府県での看護師不足と、大学側の学生確保の利害が一致した結果だそう、今後も続くという。

4年制大学であれば保健師資格

が同時に取れるなど、進学先によって看護師としての選択の幅は変わる。大学に看護学科があるのが当たり前になってきた今、大学側の教育の質の確保はもちろん、入職先の受け入れ体制のさらなる整備も必要となりそうだ。



## 日本医療マネジメント学会 ランチョン セミナー続報

2014年6月14日(土) 第16回日本医療マネジメント学会学術総会(会場：岡山コンベンションセンター)において、リブドゥコーポレーション共催のランチョンセミナーが開催され、手術看護分野認定看護師の加納朋美先生(名古屋第二赤十字病院)、中村露子先生(京都医療センター)、中村良子先生(伊勢赤十字病院)にご登壇頂き、周術期における認定看護師の活躍に大きな関心が寄せられた。

来場者のアンケート結果によると、約半数にものぼる病棟の経営層が「専門性の高い看護師の育成」に課題を持っていることがわかった。

一方で自由記述には、有資格看護師を職場でどう活かしたらよいかわからない、スペシャリストが管理職となった時の活躍のさせ方などの悩みが寄せられた。

### 認定看護師

## インタビューリレー 〈第7回〉

### 既知を超えて、患者さんへの役立ちを考える

——月並みですが、看護師を志したきっかけは何ですか？

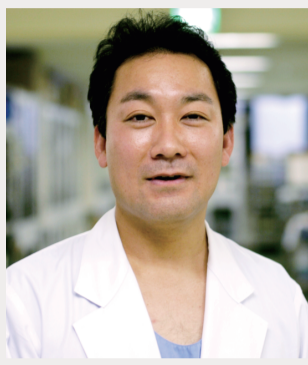
実は、学生の時に陸上に打ち込んでいて、中学時代は府大会で優勝し体育推薦で高校へ進学しましたが、残念ながら大きな怪我をしてしまいました。治療で整形外科に通っていると、患者さんは高齢者の方が多かったんです。「福祉関係の仕事に就くのもいいな」と思い、ある介護施設で聞いてみると保母さんの資格を持っている人が

多いと教えられ、短大へ進学し保育士になりました。ところが、実習先の老人ホームで看護師の方が仕事の幅が広がるとわかり、また看護士の専門学校に行き直したところ、「准」と「正」という資格

があるという事を知り…さらに3年病院勤務しながら、ようやく正看護師になりました。わりと遠回りしています。(笑)

——手術室勤務になった経緯は？

実習した病院でそのまま就職しました。その当時



中山龍二氏

### 【プロフィール】

藤枝市立総合病院 ICU師長  
(手術看護認定看護師1期生)  
(臓器移植コーディネーター)

TVで「救命病棟24時」という医療ドラマが流行っており、手術風景に憧れてよく手術室へ見学に行っていました。ちょうど

男性の看護師が活躍されていて、その方に声をかけてもらって以来です。

です。目下の課題としては、夜に寝付けなくて困っている方に何か良い方法がないかと…。私はアロマテラピーが好きなので、患者さんにも適当と思われる効能から好きな香りを選んでもらい、お部屋で香り療法を試してみたいところ、一定の効果を感じているところです。

少しマニアックですが、心理学に凝ってましてね。手術はチーム医療ですから、術中はじっとメンバーを観察しているわけです。例えば器械出しの時に、執刀医のちよつとした表情の変化を見逃さず、瞬時の判断が必要なサポートが出来たとします。後でドクターに「あれ、何でわかったの？」なんて言われると嬉しいんですよ。

職場横断的な視点が必要になってきました。

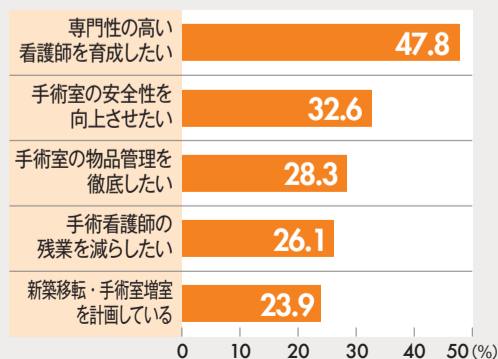
——今は手術室を離れてご活躍とお聞きしました。

はい、今はICUで師長をしています。2.1の看護体制ですから、患者さんを手厚く看護出来る環境

好きで、シフトで手が足りないと聞けば、今でも喜んで器械出しのヘルプに行きますよ。(笑)

(聞き手：陶守)

図1：手術室での取り組み課題 TOP5(N=46)



教えて!

# あなたのストレス解消法は?

手術介助や器械・物品の準備、患者さんへの術前後訪問に委員会活動…毎日多忙を極める手術室の看護業務。さらに、常に新しい手技や機器が導入される職場環境で、どのステージにいる看護師さんでも毎日覚えることが尽きないのではないだろうか。

今回は、全国(関東甲信越・東海・近畿・九州)の手術室看護師766名に、日頃どんな方法でストレスを解消しているのかを調査した。



調査の結果、「睡眠」がトップで、続いて「飲む」「買い物」「食べる」事でストレス解消をしている人が多いことがわかった。地域別で見ると、どの地域でもトップが「睡眠」で占められているのは変わらないものの、2位以降はばらつきがあるのが興

味深い。例えば、関東甲信越では

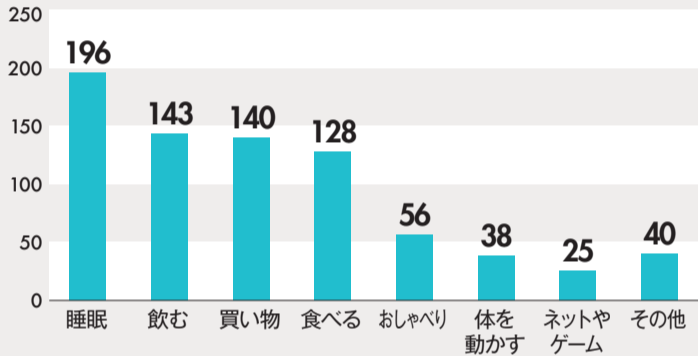
「食べる」よりも「飲む」を選んだ人が大多数を占める一方で、東海では逆に「飲む」と答えた人は少数派。九州では「睡眠」と同じくらい「買い物」に票が集まった。回答の中には「買い物に行つて、食べて飲んで寝る!」という方もおり、プライベートは思いっきり楽しむという姿が印象的だった。自分のための時間をしっかり持つことは、より良い手術看護を提供するには不可欠なかもしれない。

(千葉・庄畑)

## お茶の豆知識

昔から日本で愛飲されている日本茶だが、意外と知らないことも多い。「お茶」を大別するとしたら、日本茶の代名詞である「緑茶」、中国や台湾でよく飲まれていた「烏龍茶」、英国文化を代表する「紅茶」であるが、実はすべて「葉」は同じ学名「カメリアシネンシス」というツバキ科の茶の樹で、加工法が違うだけなのはお存じだろうか。生葉を「不発酵」で加工するのが緑茶、烏龍茶は「半発酵」、紅茶は「発酵」。他にも、細かく分類していくとお茶も

図2: あなたのストレス解消法は? (N=766)



数十種類もある  
そつだ。

お茶の効能  
にも触れたい。



温かい日本茶は一時的には体を温めるが、暫くすると体を冷やすことで冷え性の方は注意。体を温めるには烏龍茶や紅茶の方が適している。日本茶の産地では、うがいに日本茶を使うという所が多い。かぜやインフルエンザが非常に少ないと聞く。愛飲だけでなく色々な使い道がありそつだ。(黒木)

## よがます

# 福岡

黒田官兵衛のゆかりの地である福岡県が、今年は注目を浴びている。

2014年1月から放送されているNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」は、主役に人気アイドルグループ「V6」の岡田准一を起用し、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の三人の天下人を陰で支えた名将 黒田官兵衛の生涯を描いた話題の作品である。官兵衛は、戦国時代から江戸時代前期にかけて天下取りを支えた最強の軍師という一面だけでなく、側室を持たず一人の女性を愛した愛妻家としても名高い。

また、歌や茶会を愛する文化人であり、キリシタン大名でもあつた豊かな人間愛を持ち合わせたとされることも彼の魅力とされている。

福岡県では官兵衛ゆかりの観光地を巡るツアーがたくさん企画されている。中でも人気のスポットは、黒田家の菩提寺である崇福寺(福岡市博多区)とのこと。旧福岡城から崇福寺の境内に移築した藤水門をくぐると、ひととき大きな墓碑が六つ立っている。官兵衛をはじめとする六人の歴代藩主がこの地に眠っている。訪れ



ふくおか官兵衛くん

た人はこのダイナミックな景色に魅了されるそつだ。官兵衛ファンには是非訪れてほしい場所の一つである。

さて、観光の終盤を飾るには、何とんでも博多の夜の街は外せない。屋台のラーメンはあまりに有名だが、福岡市郷土料理としてすっかり定着したもつ鍋は、コラーゲンたっぷりであつた効果があり女性にも大人気。手ごろな値段も魅力的である。寒い季節を前に、博多の繁華街で暖かいもつ鍋を堪能するのはいかがだろうか。(畑山)



### Live!o topics!

・10月1日(水)〜3日(金) 第41回国際福祉機器展(東京ビッグサイト)において、企業展示ブースを出展しました。歯ブラシと舌ブラシ、うがい受けがセットになった新商品「初めての口腔ケアセット」をはじめ、多くの来場者に好評を博しました。

・10月10日(金)・11日(土) 第28回日本手術看護学会年次大会(福岡国際会議場)において、企業展示ブースを出展します。新製品のご紹介や、コーポレートメッセージ「生きる力を応援する」活動の一端をご紹介します。皆様のお越しをお待ちしております。

### 【編集後記】

三日天下に三日坊主、石の上にも三年、仏の顔も三度まで、あげくの果てには三年目の浮気などなど…「三」という数字はどうやら、ひとつのことを継続する力や忍耐力を試される格言によく使われるようです。おかげさまで、SC K ニューズの発行を始めて、三度目の日本手術看護学会年次大会開催日を迎えることができました。小学生の時から「国語」だけは格別点数の悪かつた私が、何の因果か文章を書きまとめる仕事を担当することにになりましたが、やっとこさ長年の苦手意識を少し乗り越えた気分です。(克服はできていません…)今後とも、皆様の談笑の友となれますよう、精進してまいります。

編集長 陶守久美子